

バス待ち環境改善プロジェクトちゅくちゅく進行中

～九州2例目！官民連携してバス停を維持管理～

国土交通省では、学校や病院周辺等の交通弱者が利用することの多いバス停について、安全・安心にバスが利用できる「バス待ち環境改善」のために、バス停の上屋やベンチ等の設置を官民連携（PPP）で進めています。

官民連携（PPP）とは、公的主体である道路管理者が上屋・ベンチを整備し、民間事業者が広告収入で上屋を維持管理するという取組です。

福岡国道事務所では、現在、平成26年度に全国で初めて導入された国道202号福岡外環状道路「野多目小学校前バス停（上り線）」が運用しています。

今回、引き続き、下記箇所において、運用を開始することとなりましたので、お知らせ致します。

バス停利用者等からは、大変便利になった、こういった官民が連携した取り組みが更に進むと良いといった声が聞かれております。



【今回開始箇所】 国道202号 福岡外環状道路 ながおびょういんまえ 長尾病院前バス停（上下線）
【運用開始】 平成28年10月1日から

問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所 電話：092-681-4731（代表）

技術副所長 ふくさき まさひろ 福崎 昌博（内線 205） 交通対策課長 うへだ はるき 上田 晴気（内線 471）

E-mail: fukkoku@qsr.mlit.go.jp URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

「バス停上屋の維持管理PPP」のしくみ

バス停上屋維持管理PPPとは

PPPとは、Public Private Partnershipの頭文字で、直訳すると「官民連携」となります。

今回の取組は、公的主体である道路管理者が上屋・ベンチを整備し、民間事業者が広告収入で上屋を維持管理するという取組です。

官民連携のしくみ

